

伏見中学校区地域ミーティング
(通算第140回)



開催日	令和2年2月5日(水)
開催時間	午後6時00分～午後7時30分
会場	西大寺北地域ふれあい会館
参加者	48名

意見・質問等	市側の発言
<p>1. 伏見地区にふれあい会館を早期に建設してほしいことについて</p> <p>2. ふれあい会館の建設場所を西大寺駅南側の区画整理事業の中で変更したことに伴い、地権者への説明をしてほしいことについて</p> <p>3. 西大寺駅のバスターミナルの今後の見通しについて</p> <p>4. 伏見中学校区の道路が大変狭いという事情から、大和中央道の若葉台工区を開通してもらわないと地区が混雑することについて</p> <p>5. 大和中央道の敷島工区完成に伴い、伏見小学校・伏見中学校の通学路の交通量増加が想定されるが、その対策について</p>	<p>1. 建設場所についてこれまで検討してきたが、最終的に昨年伏見地区自治連合会の役員が市に来られたときに合意した場所において、建設に向けて進めていきたい。</p> <p>2. ふれあい会館の建設については、市有地の土地開発や処分方法の話である。区画整理審議会の委員に説明に回っているが、地権者の方全員の賛同を得るのは難しい。要望があれば、説明にあがりたい。</p> <p>3. 奈良交通から、県総合医療センターへの新路線は、無料送迎バスがあるため計画しておらず、図書情報館・済生会奈良病院経由でJRの新駅まで行く新路線については、今後検討していきたいとの返事をいただいている。採算の問題だけでなく、運転手の確保が困難という最近の事情を踏まえながらも、一定のニーズが見込めるものについては、奈良交通でも前向きに検討すると考えられており、市としても奈良交通と協議していきたい。</p> <p>4. 奈良自動車学校から南側の部分の大和中央道の建設は約200億円かかるためかなり難しいが、うち約100億円が近鉄奈良線との交差に必要であり、もし近鉄のその部分が高架化されるとその費用が半分になる可能性が出てくることから、この事業は近鉄の高架化の動き次第のところがある。仮に本格的な道路整備がかなわなければ、道路改良の範囲で検討したい。</p> <p>5. 敷島工区が数年後に開通したとき、北側から南側に流入してきた車を県道谷田奈良線でどう受けるのかということについて、県に道路整備の要望を行っている。中学校の周辺部分で今危険なところは、交通安全プログラムにより可能な範囲で対応したい。</p>

6. 大和中央道は西大寺赤田町を縦断する道路になり、住宅の2階ぐらいの位置を車が走るので、プライバシー・振動・排気ガス等の心配があることから、当町住民に対する説明会を早急に開いてほしいことについて

7. 市立図書館の移動図書館の利用状況を見ると、伏見中学校区の利用が非常に多いので、西大寺北地域ふれあい会館の横の近隣公園の土地を利用して、西大寺地区に市立図書館を建設してほしいことについて

8. あやめ池幼稚園については、昨年3月の閉鎖後、幼保連携型認定こども園として活用するように行われた入札が不調となっている。その跡地についてどのように考えているのかについて

9. 蛙股池に架かるあやめ新橋は、あやめ池小学校の子どもたちが通学に使っているほか、災害時にはあやめ池地区から一次避難所である同小学校への避難にも利用されると思われるが、耐震化されていないので、早急に耐震化してほしいことについて

10. 昭和40年代に県が浄化センターをつくってあやめ池幹線が整備されるまでは下水道がなく、どんどん増える住宅地は浄化槽で汚水を蛙股池へ流していた。一方国土交通省は、大雨のとき雨水を一旦ため池にためて洪水を防ぐ大和川洪水対策をされているので、それによる国・県の協力も得て、蛙股池のヘドロを撤去してほしいことについて

6. 西大寺赤田町一丁目と二丁目からそういう声があるということなので、その範囲を対象として、説明の機会を設けたい。

7. この地域のニーズが高いことは承知しており、西大寺駅の南北の自由通路に図書返却ボックスを設置することにした。新たに図書館をつくるのは大変ハードルが高いことなので、例えば移動図書館の回数を多くするなど、サービスの充実を図っていくことを考えている。

8. 民間でこども園等を運営したい方にお貸ししようと募集したが、応募がなかった。何かしらの子育て拠点としての活用ができたらと思っている。できれば近いうちにもう一度募集を行い、それでも応募がなければ、学園前も含め地元の皆さんと一緒に考えていけたらと思っている。

9. あやめ新橋については、劣化を防止して長寿命化を図るため、市の方で平成30年11月に点検調査して、今年度設計を行い、来年度以降に工事に入る。耐震化については、対象橋梁が約30あり、国の基準に基づき調査し、非常時の緊急輸送道路を優先する等判定区分により優先順位をつけて行うこととされていて、かなりの数が順番待ちしているため、この橋は大分先になる。しかし子どもしたことでもあり、もう一度優先順位を見直せないか、今内部で検討している。

10. 市で平成27年7月に水質検査を実施したところ、水道法による水質基準を満たしているとの結果が出ている。ヘドロの撤去については、蛙股池の歩道整備の際に10m四方の範囲を行うことを約束しており、あやめ新橋の長寿命化と耐震化の工事にあわせて、履行したい。この池全部で撤去すると約32億円かかるが、ヘドロが産業廃棄物なのでその処分費用が大半を占めている。池のしゅんせつについては、日本中のため池が困っており、県内の市町村長の会議でも議論して、もう少し安価にできる技術を国土交通省として考えてほしいと提案している。奈良市だけでは難しいので、総合的に考えていきたい。